

地域おこし協力隊

活動日誌

vol.8

木次 ^{はるか} 遥 さん



【地域おこし協力隊に応募したきっかけ】

大学卒業後に勤めていたテキスタイル関係の仕事で服の素材に興味を湧いて、衣装やスタイリストのアルバイトをしながら服飾の専門学校に通い直しました。その中で植物染色に出会い、「自分と同じように肌の弱い人たちのための素材を作りたい」と思うようになったこと、そして自然染色と相性のいい川俣シルクの商品開発に携わりたいと思い地域おこし協力隊に応募しました。

【主な活動内容】

植物を転写するエコプリントという技法を用いながら商品開発をしているほか、古来にあった川俣町に伝わる幻の紫草そめ（紫根染め）という川俣で採れた紫草で川俣シルクを染める手法の再現を町内在住の本田さんとともに進めています。

【今後の目標】

川俣シルクは動物繊維でたんぱく質が多く含まれているため濃色に染まりやすいほか、保湿性や保温性が高いのに薄くさらっと着ることができるので年中使えるなどとても魅力的な天然繊維です。その川俣シルクと自然染色を組み合わせた肌着やテキスタイルを確立し、川俣シルクの魅力をたくさんの方に伝えていきたいです。

